

しらゆり

地域とともに歩むしらゆり会 [広報誌]

shirayuri
第29号
2013 Summer





しらゆり

2013 Summer

CONTENTS 〈目次〉

- | | |
|---|---|
| 8 | 平成24年度決算報告 |
| 7 | 園舎改築の概要(希望の園)、
平成24年度苦情処理状況 |
| 6 | 平成24年度寄付・寄贈、
入札結果 |
| 5 | しらゆり会役員等名簿
創立47周年記念式典
(新規採用職員・永年勤続者表彰) |
| 4 | 法人基本方針
平成25年度運営方針 |
| 3 | 福島県相双地域等
介護職員応援事業に
しらゆり会職員を派遣 |
| 2 | 理事長挨拶
しらゆり第29号発刊に寄せて |
| 9 | 施設の活動報告
救護施設 泉の園
障がい者支援施設 希望の園
共同生活介護・共同生活援助事業 互助の館
障がい福祉サービス事業 ワークセンター 島根
障がい者支援施設 光洋の里
生活介護事業 さざなみ
軽費老人ホーム ケアハウス 夢楽の郷
特別養護老人ホーム 詔光の里
特別養護老人ホーム いやしの館
老人デイサービス事業 きらめき
老人ホームヘルプサービス事業 ねごらい
訪問看護ステーション 暖心
居宅介護支援事業所 ナイス
児童福祉施設 しらゆり保育園
児童福祉施設 しらゆり第2保育園
児童福祉施設 しらゆり第3保育園
児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園 |



しらゆり第29号発刊に寄せて

社会福祉法人しらゆり会

理事長 国頭 正治

平成25年は安倍政権が経済再生の政策運営を進めるため、規制改革を推進し、雇用分野、医療・福祉分野、農業分野など規制改革の狼煙を数多く打ち上げています。しかし、株価や長期金利の乱高下している中、確実に円安による国民生活の弊害は顕著になってきております。また、財政健全化に向けた取り組みにおいては、歳出削減の方向性は見えていない状態です。第二のバブルとまらない事を祈るばかりです。

しかし、世界は変化の波にどこともが喘いでいる状況で、日本だけが明るい未来が待っているとはだれも思っていないでしょう。新次元での覇権争いは国内や世界で始まっています。

そんな中、我々を取り巻く福祉の世界も、団塊の世代の高齢化と人口減に向かう狭間で大きく変わっていかなくてはなりません。厚生労働省においては、社会保障審議会の介護保険部会において、制度見直しに向けた論点を整理し、介護人材を確保するため、賃金水準の政策的引き上げや介護ロボットの活用。また、介護利用者のうち軽度の「要支援者」を介護保険の対象から除外する案など介護保険料抑制も盛り込まれました。

そして、働く女性の施策として、「待機児童解消加速化プラン」を展開し、子育て環境の支援を展開しています。はたして、現実問題としてどれだけの可能性が出てくるのでしょうか。保育所の緊急拡大は保育士の確保に対し、保育士不足の解消は簡単には進みません。

大きな法改正は報道等で知る機会がありますが、あまり関心の薄いものは、いつの間にな法律ができていくのかと施行後に知るものも多くあります。変革の多いときは注意していないければ、対処を見誤る結果を齎します。

しらゆり会では、各事業所の耐震化を強化するため、改修もしくは建て替えを行っております。将来の事業所の安心・安全を確保するため、建物の維持管理には制限はありません。設備の老朽化の更新も、利用者や職員が使いやすい、身体負担軽減を考慮して最新のものに転換していかなくてはなりません。

今後もしらゆり会が地域の核となる事業を拡充し、地域の皆様に末永く安心して利用していただけるよう、職員一同、明日に繋げる一歩を確実に歩んでいきたいと思えます。

平成二十五年八月吉日

福島県相双地域等 介護職員応援事業に しらゆり会職員を派遣

張っていたきたいと思います。
さらに、しらゆり会に引き続いて

県内他の社会福祉法人からの派遣が続
けられれば幸いに思っています。

派遣される職員

光洋の里…松浦 亮
光洋の里…上田 繁範
泉の園…日野 晴史

東日本大震災による原子力発電所の事故の影響で、今なお県内・外への避難や厳しい環境下での事業継続を強いられている福島県内の社会福祉法人を支援するため、全国社会福祉法人経営者協議会の発議により、福島県社会福祉協議会と連携し全国の社会福祉法人からの介護職員の派遣事業が24年6月から始まっていますが、当しらゆり会では島根県社会福祉法人経営者協議会からの呼びかけで、島根県内からトップバッターとして7月から3か月間にわたり介護職員3名を福島県広野町にある特別養護老人ホーム「花ぶさ苑」へ派遣されることになりました。

派遣されるのは新進気鋭の次の3人の方々に、1か月交代で現地の施設で利用者の食事や入浴等の介護業務に当たります。

現地は事故のあった福島第1原発から30km圏内でもあり、また見知らぬ地で生活環境も異なり大変とは思いますが、しらゆり会を代表して是非頑

6月25日島根県社会福祉法人経営者協議会主催の 壮行式の状況



3名を代表し決意表明する日野氏



国頭正巳県経営協会会長から激励される3名（左から日野、松浦、上田の各氏）

法人の基本方針

社会福祉法人しらゆり会は、利用者の皆様へ、そして地域福祉充実のため次の五つの目標を掲げ、しらゆり会の施設やサービスを利用して良かったと言っていただけけるように、役職員一丸となって利用者の皆様へのサービス提供に努めます。

一・人権の尊重

(利用者の基本的人権の尊重)

二・良質なサービスの提供

(安全・安心・快適なサービスの提供)

三・信頼性の確保

(苦情の申し出に対する親切的な対応)

四・地域福祉への貢献

(地域の皆様へ社会福祉事業への理解促進及び知識普及)

五・法令遵守

(法令の遵守による適切な運営と透明性の確保)

平成
25年度

法人の運営方針

社会福祉事業の担い手としてしらゆり会の行う各事業について、确实、効果的かつ適正に行うため経営基盤の強化を図ると共に、福祉サービスの質の向上と、事業経営の透明性を図り、もって地域福祉の推進に努めてまいります。本年度の重点目標は次のとおりです。

一・変化する施策への対応

障害者総合支援法の施行、子ども子育て関連三法への対応、市町村の介護保険第6期計画に向けた検討など、法人運営に大きな影響を与えるこれらの動向について注視し、先を見据えた対応を行います。

二・希望の園 園舎改築工事

前年度末発注した希望の園園舎改築工事の本格実施に伴い、利用者の生活等に支障が生じないように受注者側と協議しながら、かつ、期限内竣工を指し計画的に進めます。

三・しらゆり保育園の移転新築

国道432号大庭バイパス建設に伴うしらゆり保育園移転新築は、移転先候補地においてバイパス建設工事と保育所建築計画との調整が相互に複雑に絡み合っているため、問題を整理しながら関係機関と連携を密にし、適切に準備してまいります。

しらゆり会役員名簿

平成25年3月8日から2年間の任期で、しらゆり会役員及び評議員の方々が次のとおり選任されました。

職	氏名	現在の職業及び公職
理事 評議員	国頭 正治	希望の園施設長、 ワークセンター島根施設長
	国頭 正久	夢楽の郷施設長
	福田 暢英	(元島根銀行常務取締役、元本会施設長)
	比良 幸男	松江市議会議員
	小林 良二	社会保険労務士
	北川 泉	島根県老人クラブ連合会理事 (元島根大学学長)
	須谷 留	(元松江市民生児童委員協議会事務局長)
	恩田 要	松江市福祉推進委員 (元シンセイ技研㈱代表取締役)
	森 晴美	(元本会施設長)

職	氏名	現在の職業及び公職
評議員	三島 進	松江市議会議員、(有)三島運輸役員
	瀬崎 淳一	(有)ベリッシュ専務取締役
	赤木 俊明	安国寺代表役員、(元松江市民生児童委員)
	山本 寿子	松江市社会教育委員
	上田 恭己	松江調理製菓製パンカレッジ校長
	石田 正美	希望の園保護者会会長
	竹田 純子	しらゆり保育園施設長
	花田 範久	山陰中央新報社論説委員
	中島 修	元県社会福祉事業団職員
監事	金築 宏	島根銀行審査管理グループ部長
	廣瀬 芳徳	栄徳商事㈱代表取締役
	柳原 知朗	(元松江市職員)

社会福祉法人 しらゆり会 創立47周年記念式典



理事長あいさつ

本会創立47周年記念式典が、平成25年4月12日ホテル宍道湖で開催されました。当日は、理事、監事を含む役員約120名が集い、理事長式辞に始まり、永年勤続職員表彰、島根県人権啓発推進センターの藤原博詩氏の記念講演と続き、最後に新規採用職員の紹介が行われました。また、本年3月31日付で退職された元しらゆり千鳥保育園施設長 平野敦子氏への感謝状贈呈も行われました。



平野元施設長



記念講演(藤原講師)

<新規採用職員>

施設名	職名	氏名	採用年月日
泉の園	看護師	梶谷美恵子	平成24年8月1日
光洋の里	支援員	山崎 智子	平成25年4月1日
光洋の里	機能訓練士	中澤 恵	平成24年6月1日
いやしの館	介護職員	蒲生 明子	平成24年9月1日
きらめき	看護師	森 恵子	平成25年4月1日

新規採用職員



施設名	職名	氏名	採用年月日
しらゆり 保育園	保育士	吉野恵美子	平成25年4月1日
	保育士	門脇 静華	〃
	保育士	大櫃 朋子	〃
しらゆり 第2保育園	保育士	吉坂 幸汰	〃
	保育士	門脇 三奈	〃
	調理員	足立奈美子	平成24年5月1日
しらゆり 第3保育園	保育士	安達 美穂	平成25年4月1日
	保育士	新宮也美子	〃
	保育士	加藤 美咲	〃
しらゆり 千鳥保育園	保育士	吉岡こずえ	〃
	保育士	渡部 智佳	〃
	保育士	矢田香保里	〃
事務局	主事	佐久間しおり	〃
	主事	神庭 悠奈	平成24年12月1日

永年勤続者表彰

今年度は永年勤続20年に8名、10年に6名の方が受賞されました。心よりお喜び申し上げます。20年を迎えられる方は、海外(6泊7日以内)、10年を迎えられる方々には国内(4泊5日以内)の職員特別視察研修を受けられます。

<永年勤続表彰者>

年数	施設名	氏名
20年	しらゆり保育園	坂本 優紀
	光洋の里	岩田 薫
	希望の園	田村 知子
	光洋の里	安部 瑞恵
	光洋の里	吉田 恵子
	光洋の里	牧田 綾子
	光洋の里	野津 奈々
しらゆり千鳥保育園	堀内 学子	

年数	施設名	氏名
10年	光洋の里	大廻 健吾
	光洋の里	渡部真理子
	詔光の里	石本 静香
	きらめき	山崎ゆかり
	しらゆり第3保育園	足立 佑介
	事務局	比企 博志



永年勤続(20年)

平成24年度 寄付・寄贈

平成24年度も多くのの方々から善意の御寄付をいただきました。

寄付者(敬称略)	施設	寄付物品
森 義郎	光洋の里	寄付金
境港歌吉愛好会	光洋の里	寄付金
長谷川 真吾	光洋の里	寄付金
万寿会鳥取県本部	本部	寄付金
万寿会	本部	寄付金
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	詔光の里	寄付物品
詔光の里親族会	詔光の里	寄付物品
パナソニックデバイス労働組合キャパシタ松江支部	ワークセンター島根	寄付物品
しらゆり保育園保護者会	しらゆり保育園	寄付物品
しらゆり千鳥保育園保護者会	しらゆり千鳥保育園	寄付物品
しらゆり第3保育園保護者会	しらゆり第3保育園	寄付物品
しらゆり第2保育園保護者会	しらゆり第2保育園	寄付物品
いやしの館親族会	いやしの館	寄付物品

(掲載対象期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日)

最近の入札結果

平成24年10月以降の大規模工事にかかる入札結果は次のとおりです。

① 入札事業名：希望の園 倉庫改装工事 (指名競争入札)

1. 入札場所

松江市山代町934-5

詔光の里 研修室

2. 入札年月日

平成24年12月21日

3. 入札参加業者

八光建設(株)、(有)ヨシオカ宮繕
まるなか工務店

他2社 辞退届

4. 入札結果

落札業者：(有)ヨシオカ宮繕

落札額 9,324,000円

(消費税及び地方消費税込み)

5. 契約年月日

平成24年12月25日

② 入札事業名：泉の園 耐震改修工事 (指名競争入札)

1. 入札場所

松江市山代町934-5

詔光の里 研修室

2. 入札年月日

平成25年3月12日

3. 入札参加業者

(株)豊洋、まるなか建設(株)

(株)金見工務店、幸陽建設(株)

(株)深田建設、若林建設(株)

(株)植尾組

4. 入札結果

落札業者：まるなか建設(株)

落札額 15,225,000円

(消費税及び地方消費税込み)

5. 契約年月日

平成25年3月13日

③ 入札事業名：希望の園 園舎改築工事 (一般競争入札)

1. 入札場所

松江市山代町934-5

詔光の里 研修室

2. 入札年月日

平成25年3月28日

3. 入札参加業者

フクダ・岩崎建設特別共同企業体

大畑建設・畑工業特別共同企業体

カナツ・トガノ特別共同企業体

松江土建・まるなか建設特別共同企業体

平井建設・都間土建特別共同企業体

中筋組・内藤組特別共同企業体

今井産業・豊洋特別共同企業体

4. 入札結果：不落札

(松江土建・まるなか建設特別共同企業体と協議することとで終了し、協議を続けた結果、左記の金額で随意契約となった)

契約額 546,000,000円

(消費税及び地方消費税込み)

5. 契約年月日

平成25年3月29日

④ 入札事業名：希望の園 倉庫屋上防水工事 (指名競争入札)

1. 入札場所

松江市山代町934-5

詔光の里 研修室

2. 入札年月日

平成25年6月6日

3. 入札参加業者

八光建設(株)、(株)内田工務店

(株)植尾組、林谷工業(株)

他1社 辞退届

4. 入札結果

落札業者：(株)植尾組

落札額 5,565,000円

(消費税及び地方消費税込み)

5. 契約年月日

平成25年6月11日

園舎改築の概要

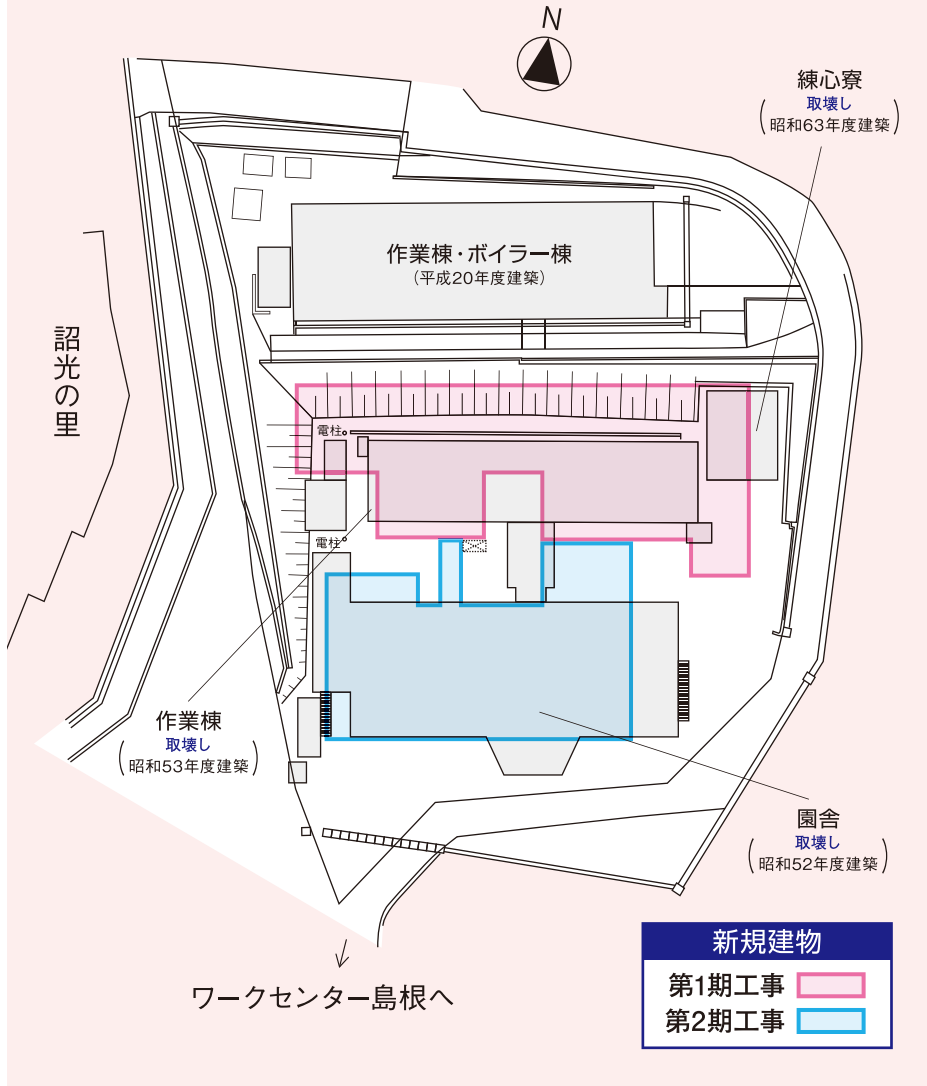
昭和52年度建築の園舎は、耐震不足並びに老朽化建物に該当したため、この度、補助事業で現地建替を行うことになりました。

入所及び通所利用を継続しながらの改築となるため、先ず第1期工事として既存の作業棟（多目的）及び練心寮を取り

壊し、跡地に居住部門を中心とした建物を建築し、その後、第2期工事として現園舎を取壊し跡地にサービス管理部門を建築します。

利用者の皆さんの生活環境が一層改善されることが期待されています。

〈希望の園 改築工事予定図〉



建物・工事概要

鉄骨造 2階建
 延床面積 1,784.13㎡
 居室 2人部屋 13室
 1人部屋 8室

工期限 平成26年5月31日
 請負業者 松江土建・
 まるなか建設特別共同企業体

苦情処理の状況 (24年度)

苦情総数17件のうち14件が職員に関する苦情でした。具体的な内容としては、電話の対応が悪かったことなど、利用者への連絡や報告が不十分だった場面が見受けられました。それ以外は、利用者に関する苦情が3件ありました。

これらへの対応としては、一つひとつ丁寧に話を伺ったうえで、各関連部署との連携を図りながら速やかに苦情解決して参りました。

今後の対応としては、発生した苦情を確実に解決するとともに、一つひとつの苦情の事例を引き続き集積しながら、利用者の抱く疑問や不安を早い段階で把握し、事故やトラブルを未然に防ぎ、サービスの改善につなげていくこととしています。

平成24年度決算報告

平成24年度決算状況

(社会福祉法人しらゆり会)

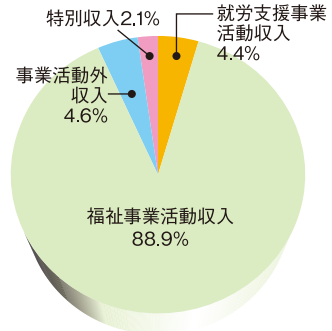
貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

(単位:千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,044,181	流動負債	243,521
固定資産	4,076,240	固定負債	191,840
		基本金	941,339
		国庫補助金等特別積立金	804,267
		その他の積立金	996,932
		次期繰越活動収支差額	1,942,522
資産合計	5,120,421	負債・純資産合計	5,120,421

事業活動収支計算書 (収入の部)



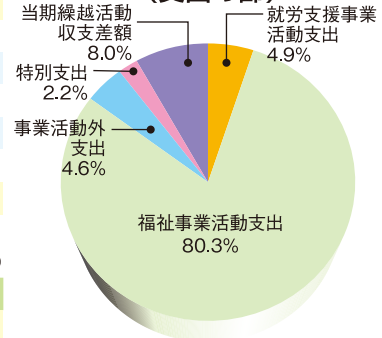
事業活動収支計算書

(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位:千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
就労支援事業活動支出	120,549	就労支援事業活動収入	108,571
福祉事業活動支出	1,978,482	福祉事業活動収入	2,189,992
事業活動外支出	113,669	事業活動外収入	112,396
特別支出	53,315	特別収入	53,097
当期繰越活動収支差額	198,041		
合計	2,464,056	合計	2,464,056

事業活動収支計算書 (支出の部)



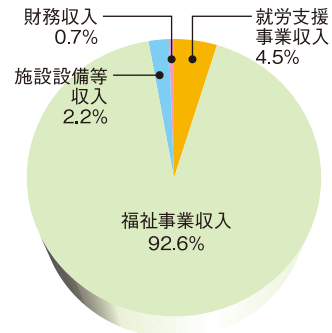
資金収支計算書

(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

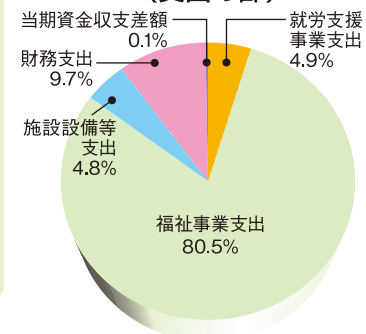
(単位:千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
就労支援事業支出	118,153	就労支援事業収入	108,571
福祉事業支出	1,943,853	福祉事業収入	2,236,724
施設整備等支出	115,488	施設整備等収入	53,097
財務支出	234,806	財務収入	15,837
当期資金収支差額	1,929		
合計	2,414,229	合計	2,414,229

資金収支計算書 (収入の部)



資金収支計算書 (支出の部)



(注)しらゆり会では監事による監査のほか、外部監査を公認会計士山川博司氏に委嘱し透明性の確保に努めています。

●平成24年度 施設整備事業

1.修繕関係

- 避難口誘導灯交換 (光洋の里)
- 保安用電源工事 (夢楽の郷)
- 3階食堂間仕切移設工事 (詔光の里)
- 地下水貯水タンク取替工事 (希望の園)
- 貯水タンク防護壁工事 (希望の園)
- 倉庫改修工事 (希望の園本部)

3.基本財産取得

- スプリンクラー設置 (夢楽の郷)

2.備品関係

- 空調設備更新 (泉の園)
- ディールーム天窓カーテン更新 (光洋の里)
- 厨房空調設備更新 (光洋の里)
- 車椅子用送迎軽車両更新 (詔光の里)
- 全自動大型洗濯機(50kg) (希望の園)
- 蒸気式乾燥機 (希望の園)
- 白衣銅プレス機 (希望の園)
- 全自動大型洗濯機(30kg) (希望の園)

4.その他の固定資産取得

- 耐震補強工事設計監理費(一部) (泉の園)
- 園舎改築工事地質調査費 (希望の園)
- 園舎改築工事設計監理費(一部) (希望の園)

平成24年度事業にかかる事業報告書・財産目録・貸借対照表・収支計算書及び監事の意見書についての情報は、統括事務局にて閲覧が可能となっておりますので遠慮なく申し出ください。
(統括事務局電話番号: 0852-21-0789)

こんなことを行いました! 施設の 活動報告



社会福祉法人しらゆり
会では様々な取り組み
を行っています。
今回も、各施設からの
声をお届けします。

救護施設 泉の園

救護施設から地域移行する ために必要なこと

泉の園では4名の利用者が地域生活移行支援事業の居宅生活訓練事業に参加しています。共同生活の中で意見が衝突することも多々ありますが、時には一人ひとり自分の感情を抑えて相手に譲ることを学んで生活しています。自分のネットワークを広げた人、仕事を始めて地域生活の為に貯金を始めた人、人の為

利用者の声

に動こうと日々頑張っている人、弱音を吐かず作業を頑張っている人。皆それぞれ自分の目標を持って、努力しています。しかし地域で生活したいという想いだけでは、地域移行は難しいと日々の支援の中で感じます。利用者自身が自分の生活課題を自覚して、克服するために努力をすることが

何より大切だと思っています。また夢や希望を持って地域社会に出ていく利用者には、必要な社会資源を提供できるような職員は日々研鑽を積む必要があると常々感じています。その方に必要な社会資源を提供して、地域生活で活用しながら快適な生活が出来れば良いと考えています。さらに地域の方々にもご理解を頂き、皆が助け合って共に生き、誰もが暮らしやすい地域社会を築いていけたらと願います。

◎介護職員 田中明美

今年の四月から希望の園のクリーニングに通っています。仕事の内容は、大型機械でクリーニング



仲間と共に頑張っています。

作業をやっています。洗い、乾燥、仕分け、アイロン掛けの作業に分かれています。私は入ったばかりなので仕分けの作業を行っています。体力的にハードな仕事です。体調を崩さない様気をつけて元気に働きたいと思っています。

田部秀雄



大きな乾燥機と格闘中。



一枚一枚丁寧に...

希望の園改修工事始まる

昭和五十三年一月開園した希望の園は、本年度より改修工事を行うこととなりました。

昭和五十三年一月開園した希望の園は、本年度より改修工事を行うこととなりました。制度が変わり、生活する上で少しでも過ごしやすい環境を提供するため、新園舎への移行が決定されました。

これまでは相部屋で、利用者の方にはいろいろとご不便な点があったと思います。新園舎は個室も十分に準備しています。お一人おひとりが、これまで以上にのびのびと、落ち着いた生活を送っていただけだと思います。

変楽しみにしています。階段がない平屋造りで、一人あたりの居住スペースが広く、これまでより明るく、使い勝手が良い施設になっています。

平成二十年には、クリーニング工場とパン工場が新設され、これで

新たなサービスを展開していく上で、「とりあえず」「しばらくここで」と空いたスペースを無理やり使ってみました。これからは専用の場所、或いは部屋で、のびのびと活動して頂き、更に成果が向上するような効果を期待しています。

「新希望の園」が完成します。

県内第一号の授産施設として出発して、三十五年が経過し、念願であった改修工事が行なわれています。

利用者の方はもちろん、親族様、或いは業者の方、これまでご協力

日々、解体されていく建物を見つづ、感慨と共に、新園舎の完成が待ち遠しい気持ちでいっぱいです。

いたでいて

今年度中には、居住棟が完成し、入所利用者の方には移動して頂きます。そして、予定通りに進めば、来年の五月末には完成の運びとなります。

ご期待いただきたいですが、我々職員側も大

皆様には、もうしばらくご迷惑をおかけしますが、よろしくお願ひします。



作業棟解体（入口付近）



作業棟解体（屋根部分）

障がい者スポーツ大会に参加して

六月二日(日)ボウリング大会がしんじ湖ボウルで開催され、互助の館からは十一名の利用者の方が参加されました。

互助の館の競技開始が午後からだだったので、時間が空き集中できず、緊張からかピンが多く残っている方が目立ちました。しかし、徐々に緊張はほぐれ、集中することができるよう



みんなで・にっこり・ハイチーズ。 すごいでしょ？1位だよ。

うになると、後半はストライクやスペアーを取る場面



表彰受けちゃいました。

が多く見られました。ストライクやスペアーが出るたびに利用者の方も職員もハイタッチで喜びを共有することができ、楽しい時間を過ごすことができました。

日々、みなさん忙しく仕事をされる中で、ひと時の気分転換と利用者の方同士の交流にもなったように思います。好成績を収める方が多く賞状も沢山いただきました。

〈成績〉

- 個人戦 第1位(年齢別) 女性 2名
- 個人戦 第3位(年齢別) 男性 3名
- 団体戦 第2位 男性 4名1チーム

- ### 〈利用者さんの感想〉
- ・1位になれて良かった。また、来年も出たい。
 - ・団体2位は良い成績。来年は絶対に1位をとる。
 - ・調子はまずまずで楽しかった。

自転車の乗り方・マナー講習会

互助の館には自転車を利用される方が多くいらっしゃいます。自転車事故が多く発生している中で自転車利用者には被害者ではなく加害者になるケースも少なくありません。



みな真剣に自転車講習に参加しました。

今回、互助の館では津田交番・市役所の勧めもあり、DVDをお借りして「自転車マナー講習会」を開きました。

- ・8ピンも9ピンも倒せた。ストライクの後、連続でスペアーがとれて嬉しかった。
- ・あまり話したことのない利用者と話ができて楽しかった。

した。多くの利用者の方が参加され、真剣にDVD鑑賞や支援員の解説に質問する姿も見られました。自転車事故による危機管理も皆さんの中で高まったのではないかと思います。

〈講習会に参加された利用者の方の感想〉

- ・自転車は結構危険なものだと思った。
- ・自転車で走ってもいい道・ダメな道があることが分かって良かった。
- ・二人乗りや傘差し運転、携帯操作しながらの運転が、なぜダメなことなのか分かった。

掃除機を寄贈して頂きました

去る二月七日、パナソニックデバイス労働組合キャパシタ松江支部様の地域貢献活動の一環として、ワークセンター島根に業務用掃除機を寄贈して頂きました。『品質管理の徹底』を心掛けている当施設にとってはとても有難い頂き物でした。



パナソニックデバイス労働組合様ありがとうございます。
大事に使わせて頂きます。



吸引力バッチリ!!

今までは、少々頼りない掃除機を使ったり箒で掃いたりしての掃除が主でしたが、掃除機を頂いた日から早速、作業場を始め事務所、廊下、製品・材料を保管する倉庫に至るまで工場内全ての細かい土埃の掃除に使わせて頂いています。

掃除をすることにより、利用者の方の作業もしやすい環境となり、より良い製品を作ろうと思う気持ちも高まってきているように感じます。工場全体が作業意欲に満ち溢れ、一人ひとりの向上心へも繋がっているようです。

『品質管理の徹底』には「ここまででよい」という終わりはありません。毎日毎日、一人



キレイな環境で作業もはかどります。

ひとりが考え追求していかなくてはなりません。その為には、今後ごみのないより良い綺麗な空間で作業を行うことが小さな第一歩ではないかと考えています。寄贈して頂いた掃除機を大切に、しかし最大限活用し、今以上に品質管理の向上を皆で目指していきたいと思っています。

セラピストとしての関わり

リハビリテーションとは、re(再び)+habilis(適した)、すなわち「再び適した状態になること」「本来あるべき状態への回復」などの意味を持つ。そのため、「光洋の里」に入所されている、多くの利用者様にとっては、適切な表現ではないかもしれない。その理由は、入所生活を送っていらっしゃる半数以上の方が脳性麻痺を基礎疾患としているためである。そのため、多くの利用者様に関しては、ハビリテーションの表現が適切と判断している。



可動域訓練

ハビリテーションとは、habilis(適した)、すなわち「適した状態になること」、言い換えれば、能力を獲得していくことを意味する。現在光洋の里では、利用者全員に何らかのリハビリテーション(ハビリテーション)を提供していくことを目標に、業務を行っている。障害区分も重度の6の利用者様が中心になってきていたため、リハビリの内容もactiveな内容よりもpassiveなものを中心となっている。

私が「光洋の里」で勤務するようになって、1年が経過した。この1年を振り返り、セラピストとしての関わりの中で、昨年はポジショニングに力を入れてきたので、その事例を紹介していきたい。対象となった方は、四肢麻痺の状態であり、重度の知的障害を呈している寝たきり状



クッション導入当時の写真



半年後の写真

態の54歳の女性。全身に軽度(中等度の関節拘縮を認め、頸部の筋緊張は伸展優位の状態となっていた。頸部の伸筋群が優位な状態となると、頸部の回旋動作などが制限されるばかりか、屈曲動作が出来にくくなるため、誤嚥のリスクが高まっていく。そのため、ベッド上でのポジショニングの見直しを行い、筋緊張の緩和を図っていくこととなった。頸部の伸展筋群は種類も多く、背部全体を覆っている筋もある。各筋群は主動筋、補助動筋、拮抗筋が作用と反作用を伴いながらバランスよく活動しているため、頸部のみではなく体全体のポジショニングを図っていく必要があった。

ポジショニングでは、頸部・

大腿部(下腿部)にポジショニングクッションを導入し、全身の筋緊張緩和を図っていた。結果が出始めたのは、半年を経過したころ。頸部の屈曲運動がしつかりと行えるようになったこともだが、頸部の回旋動作も確認できるようになってきた。寝たきり状態と重度の知的障害を呈しているため、目的動作に移行することはないものの、眼球の動きとともに、頸部の動きで対象物を追うしぐさなども観察されるようになり、さまざまな表情が確認できるようになってきた。

今回の事例紹介は、「光洋の里」の職員全員で情報を共有し、実施していることの一部を紹介させていただいた。今後も、セラピストとしてリハビリテーション(ハビリテーション)を提供するだけでなく、利用者様一人ひとりと生活全般の課題を他の職種と共有しながら、業務を行っていききたい。

◎作業療法士 中澤 恵

創作作品「巳」



完成した写真の前で記念の一枚！

さざなみでは、創作的活動を午後の機能訓練の一環として捉えながら一年を通じ、その時期毎の様々な「旬」を題材として壁画制作に取り組んでおります。月単位で年間十二の作品にチャレンジし、少しでもその時の「旬」を表現し完成させることで五感を

養っていただきたいのと、完成した時の達成感を皆さんで共有できたらとの思いで日々取り組んでいます。そして、出来上がった壁画作品は、訪問客の皆様方に喜んでいただけるよう、さざなみ玄関の正面の壁面に展示しております。また、感動と驚きを提供

したいとの思いから、迫力あるサイズで立体的に表現し、バラエティーに富んだ作品となることもあります。例えば、一月の作品は、写真のように今年の干支が巳なので、蛇をバックに「巳」という字を被せるという構図を担当職員・利用者で考

えました。それを下書きし、色や素材などを考え、この作品の表現方法として、ちぎりの絵の作品に仕上げることにしました。制作工程は、材料作りとして毎日のように色紙を破る作業が続きます。次に、のりで貼って、押さえるという作業に移ります。目や指が不自由でも、一生懸命に色紙をちぎって下さる方も居られます。また、指先しか動かない方やまったく指が動かさず握りこぶしや肘しか使えない方が糊付けや貼った部分を押し下さるなど、それぞれの方



分担しながら一緒に作業しています。

が自分の動かせる機能を上手く利用され、コツコツと制作に取り組んで下さいます。その姿は実に真剣そのものです。個々の興味や意欲を引き出し、楽しく取り組んでもらえることを念頭におき、工夫しながらの活動となっております。細かな作業が好きな方、とにかく作る事が好きな方など性格的にも様々な方々が互いに協力し合ってひとつの作品を創り上げます。作品が完成した時、皆さんの笑顔もとても素敵に見えます。



難しい細かい作業にも一生懸命取り組みます。

学びの郷

夢楽の郷では、現在60名の入居者が生活しておられます。皆様、思い思いに過ごしておられ、日々たくさんのことを人生の先輩方から学ばせていただいています。

四季の草花

夢楽の郷の玄関先や事務所のカウンターには毎日、季節の草花が飾ってあります。

そのほとんどが、入居者様が花壇や畑、お部屋で育てられたものです。中には今まで名前も知らなかった花もあり、花に詳しくなれます。



事務所カウンター



ばんまつり

6月には、玄関先にいい香りがする「ばんまつり」と言う花が置いてありました。花が紫から白に変わり、夜になると香りが一層増すという由来から、その名がついたようです。

情報

入居者様の全員が顔を合わせることが出来るのが食事の時

間です。その際には会話が弾みます。毎日の天気予報はその会話の中で知ることが出来ます。その他にも、政治情報、相撲や野球などのスポーツ情報、今日のテレビ番組。最新情報はそこからいれます。

害虫防止

毎年、害虫駆除を行っておりますが、すぐ近くには山や池もあるためどうしても発生が防ぎきれません。そこでAさんの知恵です。害虫には「灰」。軒下に置くことで灰の臭いを嫌がる害虫の侵入を防ぐという昔ならではの知恵です。

思いやる心

共同生活では、時にはぶつかり合うこともあります。日々の暮らしの中で互いを思いやる場面を目にすることの方が多くあります。さり気無い優しさや、互いを尊重し合いたい思いやる姿はとても人生の勉強になります。また、入居者の皆様は職員たちに「おい

しい食事をありがとう」「お風呂の準備をありがとう」といつも感謝の気持ちを伝えて下さいます。様々な知恵や思いやる心を学ぶことが出来るこの夢楽の郷で暮らしのお手伝いをさせて頂けることはとても楽しく、自身を向上させてくれるとやりがいのある施設です。そして、これからも入居者様が快適で有意義な生活を送れるよう、一生懸命お手伝いさせて頂きたいと思えます。



笹巻き作り今年も賑わいました。

心のケア

詔光の里では毎年、外出行事を企画しています。施設で生活していると、なかなか外出に出る機会が少なくなり、悪く言えばマンネリ化しがちな生活になってしまいます。そこで、少しでも張りのある生活を、外の空気を吸って、景色を眺め心身ともにリフレッシュしていただきたいと思いついて企画しています。



大好きなお花の前に。自然と笑顔に。



夫婦での久しぶりの外出。

今年度は五月・六月に伯太チューリップ祭り・イングリッシュガーデン・光洋の里祭りに行つて来ました。ご家族様の協力もあり、久々の家族での外出ということでも発前からおしゃれをされたり、お化粧をされたりしておられました。車中、現地でも景色を見て話も弾み、溢れんばかりの笑顔で話しておられる姿が大変印象的でした。帰

里されてからもしばらくは外出の話で盛り上がっていました。春の外出は天候にも恵まれ、またご家族様の協力もあ

り事故なく無事に終えることができました。利用者様の笑顔を支えに、リフレッシュできる行事をこれからも考えて行きたいと思えます。



イングリッシュガーデンにて。天気も良く外出日和。

青空の下で



こうして形を整えてと…。



なかなかうまいこと出来てますよ。

五月八日、五月晴れの中、「新緑を愛でる会」と題して、中庭でお茶会を開きました。外気浴、日光浴を兼ねたお茶会はとても大切ですが、日差しが強過ぎたり、小雨が降ったりと出来ない時がありましたので、この度親族会から簡易テントを購入していただきました。

中庭には、いやしの館のシンボルツリーであります「そよご」が新しい葉を出しきれいな緑色をしています。しかし、このそよごを眺めて語らいつつながらお茶をいただく、という会であったはずが、どちらかと言うと「花より団子」派の利用者様ばかりで、そよごには目もくれずお茶とお菓子をひたすらおいしそうに召し上がっておられました。

それもそのはず、この日のおやつは利用者様にもお手伝いいただき一緒に作った「桜餅風クレープ」でした。見た目もお味もとても良い出来で、クレープをまだ盛り付けをしていないうちに、じーつと見つめてつい口に運んでしまわれる利用者様もおられたほどでした。「まいわく」とニッコリ笑顔で言われ、「あ、○○さん、まだ食べちゃダメですよ!」「あら?そげかあ…」「へへへ」と少々のハプニングもありながら楽しくお菓子作りも出来ました。

日射しが出ていても、利用者様にとつて外気はまだまだ肌寒く、食べ終わられたらすぐに「寒いけん帰らせてー」と訴えられる方も多くありました。しかし、これから梅雨を過ぎ、夏に向かい気候も暖かく良くなつて行きます。これからこの度購入していただいたテントを大いに活用させていただきます、日頃施設内にこもりがちな利用者様に、気軽に外気を浴びていただきたいと思えます。大規模施設では難しい、いやしの館ならではの行事をこれからもたくさん考え、提供していきます。



いい天気!気持ちいい~!

◎ひだまりユニット
サブリーダー 小川 剛

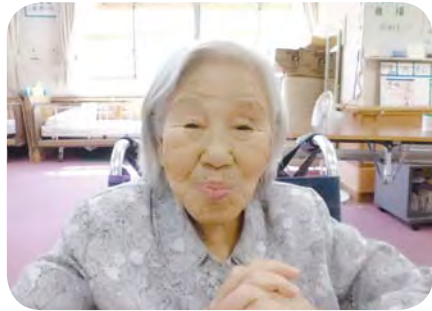
予防はほんの小さなアイデアからも

今日も、「みかんの花が咲いている〜思い出の道〜丘の道〜」、と歌声をホールに響かせて、終礼前の20分間デイサービスでは口腔ケアとして歌を唄います。その他の口腔ケアとして、来所時のうがい・昼食前の口腔体操・食後の口腔ケア・15時のうがい、などを行っております。

口腔ケアを開始してから8年が過ぎました。口腔ケアが定着してからは、肺炎やインフルエンザに罹られる方が一

例も無いのがデイサービスきらめきの自慢でもあります。

口腔ケアには、色々なアイデアを取り込むようにしています。最近では、昼食前の体操の内容を追加し、「テーブルで向き合っている方と笑顔で挨拶を交わしてください」というシーンを作りました。前におられても面と向かって目と目を合わせることは



笑顔で予防



予防は一緒に楽しく♪

照れ恥ずかしくもあり、つい笑顔がでたり大笑いになったりもしています。これは、

表情筋を刺激するのにデイサービスの皆さんで出来る良い方法だと感じています。これからも利用者様の健康がいつまでも守られるように、どんな些細なことでも取り入れていきます。

〜まず愛情表現大切に〜

人の口の機能は、生命を維持する優先順位から、

①呼吸をする ②飲む

③食べる ④話す。そして

⑤愛情表現、に大きく分けられる。突発的に脳

梗塞等になった人でなく、

加齢により、食べたり飲

んだりする働き（摂食嚥

下機能）の落ちた人は、

この逆の順に、機能低下

していく。つまり、最初

の愛情表現のところを低下

させない努力が必要だ。

家族から隔離し、個食

を続けさせれば、摂食嚥

下機能が低下しやすいと

言える。家族や周囲の人

がいつも笑顔で、温かく

接することが、摂食嚥下

機能の維持に大切だ。

食べて健康に生きる

ケンスケ先生診療日記より



支え合いながら

高齢化社会が叫ばれるようになった昨今、一年後には六十五歳以上の方が人口の四人に一人、さらに約二十年後には三人に一人になると見込まれています。

私共、ヘルパーステーションねぎらいは現在、個性豊かなヘルパー十一名で活動しています。その中には手話通訳者もおります。そして、七十名の利用者様宅を訪問させて頂いており、



庭先のクジャクサボテン（赤）

お陰様で事業所を開所して今年で十三年目を迎える事が出来ました。この間、沢山の出会いと別れを経験してきました。この春にも訪問するヘルパーを娘のようにだといつも温かく迎えて下さった利用者様との別れがありました。

出会いは一年前の春。庭には色とりどりの薔薇が咲き、玄関先には薔薇のアーチもあるそんな素敵なお宅にお住まいのN様。ご主人とお二人暮らしで、当時はまだ自宅内を歩行器やつたい歩きで過ごされておりました。しかし、夏を迎える頃には、一人での歩行がままならず車椅子を利用されるようになりました。ベッドからの起き上がりやトイレ、入浴に介助が必要となり、心優しいご主人が昼夜問わず対応されておりました。ご主人も円背で腰痛があるにも関わらず嫌な顔一つせずいつも傍で見守っておられました。そして、寒さが厳しくなる頃には在宅での生活が困難になり施設入所されました。N様が入所されてからも毎日のように面会に行かれておりました。そして、今年、庭に薔薇の花が咲く頃旅立たれました。

今、ご主人のサービスに週二回訪問させてもらっています。N様がお元気な頃は家事などほとんどされた事はなかったご主人は今では、洗濯

や朝食作りなど上手に出来るようになったと笑顔で話して下さいます。また、ご主人のお人柄だと思いますが、近所の方や知人の方が心配して頻繁に訪問して下さいます。N様が亡くなられて二ヶ月が過ぎましたが、やはり一人はつまらないと寂しさを口にされています。それでもグランドゴルフや買物、庭の手入れ、パソコンなど忙しくされています。N様との沢山の思い出が詰まった自宅で訪問時には故人の生前お元気だった頃の話を伺いながら、私達に頼りにしとるけんね。よろしくね。と言って下さいます。学ぶ事の方が多くありますが、ご主人のお気持ちに伝えられるよう、少しでもお役に立てたらと思います。

利用者の方が気持ち良くサービスを利用して頂ける事が私達の喜びです。小さな事業所ですが、反省すべきは反省し、伸ばす所は伸ばし、お互い切磋琢磨しながら、十四年目に向け一歩づつ前進していきたいと思えます。

九十一歳の 体験……

四年前の初冬、裏庭で草取りをしていたら、見知らぬ人が車の窓から「とても美しい水仙ですね。」と声をかけられた。これがご縁の始まりで、友達の少なくなる私は、うれしくなって色々とおしゃべりを始めた。それ以来、月に一度程度お会いする友達の渡井さんです。

今年五月初め胸がドキドキするのでかかりつけの医師に診ていただいた。何かあればまた受診するようにと言われたが、翌日またドキドキしふらふらしていたところ

江戸時代からの庭を守ってこられたNさん



に渡井さんが見え、昨日の話をしたとたん直ぐかかりつけ医に連絡された。しかし五月の連休で連絡

が取れず、渡井さんの付き添いで赤十字病院の救急外来に受診することになった。処置室で点滴処置を受け横になっていたら、その間に県外にいる娘の所に電話もされていた。私は何が起きているのやら、さっぱりわからぬまま心不全・弁膜症と診断を受け、夕方遅く帰宅できた。あの時の渡井さんの身のこなし方の美しさ、素早さに驚き、その時初めて訪問看護の仕事をなさっている事を知った。自分では普通の人間の能力を持つている老人と思っているのに、赤十字病院以来、行き届いた看病は、幼い子供扱いに心では苦笑し、表には唯々感謝一杯です。松江にこのような事業があることを始めて知り、これからも安心して住みなれた家で仲間と共に暮らせることを知った二〇一三年五月、庭に見事に咲く芍薬と共に忘れる事の出来ぬ私の九十一歳の体験です。



この草花は食材になりますよ。

訪問認定調査の 委託を受けています

居宅介護支援事業所ナイスでは、担当させて頂いただいては、利用者様の支援業務のほかには松江市以外の市町村からの委託を受けて、介護保険の要介護認定にかかる訪問認定調査を行っていただきます。訪問先は、有料老人ホーム、病院、個人のお宅と様々で、現在毎月2件程度の依頼をいただいております。通常のケアマネ業務と並行して行っています。

私達が行う訪問認定調査が、要介護認定を行う上で重要な資料となりますので、調査前はもちろん調査終了後に内容をまとめる際にも、認定調査員テキストを常に確認しながら慎重に取り組んでいます。現在のよう定期的に訪問認定調査の委託を受けるようになって

て、第三者も理解しやすいように簡潔に文章をまとめること、一回の面接でその方のおおよその生活状況を把握することなど、ケアマネ業務にもおおいに役立っていると感じています。今後も可能な限り訪問認定調査の委託をお受けし、調査を受けられる方が緊張することなく普段通りの様子で調査を受けていただけるよう、訪問調査員としての技術の向上も図っていきたく思います。



職員さんにも話を聞きます。

地域に支えられ育まれる "豊かな心"

しらゆり保育園は自然に恵まれた環境の中にあり、園内はもとより、園外でも地域の方々の協力を得ながら、様々な自然体験を通して子ども達の心と身体の成長を育んでいます。

毎年、春には年長・年中児で地域の竹林に出かけ筍掘りを行っています。地域の福島のおじさんに掘り方を教わったり、手伝ってもらいながら、夢中になって掘る子ども達。筍掘りを通して手触り、匂いなどを感じたり、食材への興味関心、食べることへの意欲にもつながっています。

また、近くには風土記の丘やかんべの里もあり、子ども達は古代



おじさん、筍ってこんなに大きくなるの？

みてみて！大きい筍が掘れたよ！！



あぜ道をみんなで歩いて筍掘りに行くよ



の文化に触れたり、それを囲む四季折々の豊かな自然の中で様々な発見をします。例えば秋、どんぐり探しをしていると、芽が出て地面へと根を下ろす逞しいどんぐりの生命力との出会いもありました。子どもたちが名づけた風土記の丘の森、どんぐり森。どんぐり森では、森の不

思議をたくさん見つけました。

さらに、

天狗の森ではかんべの里の計らいで、しいたけの収穫をさせてもらったり、ピザ作りを体験させてもらいました。

自然に囲まれた戸外で、石窯で焼いた出来立てのピザを食べる子ども達は満面の笑顔でした。これらの貴重な体験は子ども達にとって忘れられない思い出となり、自然への感謝の気持ちや探究心につながったことと思います。

これからも地域との関わりを大切にしながら、子ども達が五感を働かせるような自然体験が少しでも多く出来るよう努力していきたいと思えます。

©しらゆり保育園

白川麗子



天狗の森のスタッフさんに、ピザ作りを覚えてもらったよ



天狗の森で天狗さんと一緒に、ハイ、ポーズ!!



石窯で焼いた焼きたてのピザとってもおいしいね！

人との関わりから学ぶ自身

幼児期は、人生において人との関わりを学ぶ重要な時期だと考えられています。社会性やコミュニケーション能力は、その子の人間形成にも大きく影響します。積極的に多くの人と関わる機会を増やしていきたいと考えています。

子ども達が他者と関わる機会を持てるように、私達保育者が取り組んでいることがあります。その一つが鳥根大学の学生ボランティアグループ『はらっぱ』との関わりです。週に一度、夕方来園し交流するというものです。この

交流が始まった当初、学生の参加は数えるほどでした。しかし、「継続は力なり」という言葉の通り、10年が過ぎた今では、20〜25人近くの学生さんが毎週のように来園するようになりました。子ども達も学生さんと一緒に遊ぶことが楽しく、「今日は、はらっぱさんが来るから遅く迎えに来てね」「まだ、一緒に遊びたい」という言葉が返ってきます。

「はらっぱのお兄ちゃん大好き！」



繰り返し参加してくれる学生さんの顔を覚

え、子ども達の方から話しかける姿も見られます。毎年行われる保育園の夏祭りや運動会に積極的に参加し、お手伝いしてくれる学生さんの姿は「第2保育園ならではの恒例となっています。また、私達がもう一つ取り組んでいることがお年寄さんとの交流です。敬老お祝い会には『いやしの館』のおじいさん、おばあさんたちをお呼びします。他には『万福の家』との交流です。施設の方と一緒に行事に参加したり、昔の遊びを教わったりと子ども達の興味の窓を広げてくれます。

子どもが成長していく場は、保育園、家庭、そして共に住む地域のいろいろな人との関わりが相互に関連し合っ成り立っています。地域とは「いろいろな異なる人達が一緒にいる場」といえます。保育士でも家族でもない人との関わりは、子ども達にとっては新鮮な出来事であると考えます。人との関わりの中で



「おばあちゃん、これなあに？」～絵本を読んでもらってうれしいな！～

自我も育ち、自身の周りのことを受けとめ、人と共にいる中で自分の力を発揮することができます。若年の年齢差や多様な人間がいることを幼いながらも子ども達は知り、自然と自分達で関わり方を考え行動します。子ども達が時間をかけ、自分自身を育んでいくことを保護者と共に支え、成長できるように見守っていくために今後もこれらの活動を大切にし、続けていきたいと思えます。

地域の方々との交流の中で
野菜の栽培を通して



地域の方に畑を耕し畝を作っていただきました。

年度当初、クラスごとに栽培・食育計画をたてたものの、芋や野菜などを育てた畑が固く、土壌の成分も芋や野菜を育てるには不十分でした。畑の土作りから始めようと話し合っていたところ、地域の方が以前から「草刈りや耕運機での土作りやうね作りをしてあげるよ」と申し出てくださっていたので、さっそくお願いしました。また、近隣の

尚一層肥えた畑の土になりました。加えて、もみ殻も何回にも分けていただきました。「もみ殻を畑にあげると水分を含み乾燥しないよ。土の栄養になるし、虫除けにもなるから」と子ども達に教えてくださいました。その畑に子ども



さつまいもの看板

牛を飼っている方からは、畑の堆肥用に牛糞の乾燥堆肥をいただきました。



地域の方にいただいたもみ殻。大切に播きます。



枝豆の畑・水やりの様子



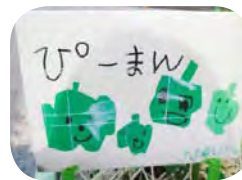
本当に楽しそうです。家庭に帰ってから親子の会話も弾み「子どもが喜ぶので、

も達が、きゅうり、ピーマン、オクラ、枝豆、さつまい芋を次々と植え、毎日の水やりや草抜き等のお世話を一生懸命しています。
先日、大切に育てたピーマンやきゅうりの収穫をした子ども達からは、「ピーマンできたよ。食べたなら、甘かった!」「きゅうりの花は黄色なんだよ。きゅうりの葉っぱにはお父さんの腕みたいな毛がはえてた!」等々毎日発見や気づきのつぶやきが聞かれ



ゴーヤ、パッションフルーツ等も作りました。

園の保育活動を支えていただいている地域の方々から深く感謝すると共に、今後とも交流を深め子ども達にとって良い環境が整えられるよう職員も一緒に進めたいと思います。



家庭菜園を親子で始められます。」と言われる保護者さんもおられました。



ピーマンの収穫：はさみで丁寧に...

自然の中で、 心豊かに育つ子どもたち

この春、初めてしらゆり千鳥保育園に勤務するようになって改めて感じることは、まわりの自然の豊かさです。

園を一步出れば歩いて二十分程のところに児守稲荷神社や城山などがあります。子どもたちは堀川に添って地域の方々が育てておられる四季折々の花を眺めながら散歩を楽しんでいます。堀川遊覧船と出会った時には、大きな声で「こんにちは」と挨拶をし、「またね」と交流するひと時もありません。城山では、春には桜や



「こんにちは」「オーイ」



わあ〜きれいだねえ〜!!
なんじゃもんじゃのお花だよ。

たり、松ぼっくりを集めたり、鬼ごっこをしたりして遊びます。鎮守の森や椿谷は大きい年齢の子どもたちにとって格好の場所。昆虫やいろいろな鳥の鳴き声、そびえ立つ大きな木やどんぐりの実、名も知れぬ大きな葉。豊かな自然の中で静かに音に耳を傾けたり、探検ごっこをしたりして楽しんでいきます。

また、園庭の西側には大きな築山があり、この築山を囲うように樹齢四十年以上のねむの木やイチヨウの木、キン



それえっ!!イチヨウの葉っぱ、いっぱいだよ。

モクセイの木があります。一〜二歳の子どもたちもこのキンモクセイの甘い香りを感じながら築山を登ったり降りたりして大喜びで遊んでいます。築山のとっぺんにのぼり

きった子どもたちは、腰をおろし、手が届きそうで届かないイチヨウの木を見上げ、

葉っぱが風に揺れる音に耳を傾け、動きを一生懸命目で追いかける姿もみられます。秋になると落葉した真黄色のイチヨウの絨毯の上を歩いたり、両手いっぱい集めたイチヨウの葉っぱを降



“おーい!!みてみて!ここだよ!”
築山のとっぺんでニコリ!!

園庭のすぐ隣には普門院があり、この普門院の大きな木々が園庭に木陰をつくってくれています。十メートル以上もある木々と普門院観月庵の藁ぶき屋根。よく晴れた日には青い空に緑のコントラスト、そして静かなたたずまいの屋根と、なんとも言えない美しさです。

このように歴史ある自然の恵みと温かい環境に包まれてるしらゆり千鳥保育園。これからも身体をしっかりと使って自然にかかわり、五感でいろいろなことを感じたり考えたりできる子どもを育ちを願い、保育者自身も感じる心を持ち、この豊かな環境を無駄にせず、日々保育に活かしていきたいと思えます。

らせたりして楽しみます。そして、この築山のフェンスの向こうは堀川。木々の木陰と涼感たっぷりの堀川で、暑い日も涼しく過ごしやすいと感じます。

社会福祉法人 しらゆり会

第一種事業

第二種事業

公益事業

(注)各施設の記載順は社会福祉法に定める事業の順とした

統括事務局 松江市山代町 934-5 TEL.0852-21-0789 FAX.0852-27-6985

社会福祉法第2条 第2項

第1号	生活保護法に規定する救護施設	救護施設 泉の園	松江市矢田町 472
		TEL.0852-24-3512	FAX.0852-27-6987
第3号	老人福祉法に規定する特老、軽費老人ホーム	特別養護老人ホーム 詔光の里	松江市山代町 934-5
		TEL.0852-31-4165	FAX.0852-27-6982
		特別養護老人ホーム いやしの館	松江市西川津町 733-1
		TEL.0852-27-0081	FAX.0852-27-0071
		軽費老人ホーム ケアハウス 夢楽の郷	松江市山代町 933-9
		TEL.0852-31-9036	FAX.0852-31-9038
第4号	障害者総合福祉法に規定する障害者支援施設	障がい者支援施設 希望の園	松江市山代町 934-10
		TEL.0852-21-0791	FAX.0852-21-2829
		障がい者支援施設 光洋の里	境港市渡町 2480
		TEL.0859-45-5400	FAX.0859-45-5411

社会福祉法第2条 第3項

第2項	児童福祉法に規定する保育所	児童福祉施設 しらゆり保育園	松江市古志原 6-19-36
		TEL.0852-22-3803	FAX.0852-60-7132
		児童福祉施設 しらゆり第2保育園	松江市西持田町 336-5
		TEL.0852-23-3340	FAX.0852-60-7131
		児童福祉施設 しらゆり第3保育園	松江市矢田町 484-6
		TEL.0852-26-2356	FAX.0852-60-7130
		児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園	松江市北田町 188-3
		TEL.0852-21-3440	FAX.0852-60-7135
第4項	老人福祉法に規定する事業	老人ホームヘルプサービス事業 ねぎらい	松江市山代町 934-5
		TEL.0852-31-3328	FAX.0852-27-6982
		老人デイサービス事業 きらめき	松江市山代町 934-5
		TEL.0852-31-3370	FAX.0852-27-6982
第4の2項	障害者総合福祉法に規定する障害福祉サービス事業	障がい福祉サービス事業 ワークセンター島根	松江市矢田町 250-110
		TEL.0852-22-4105	FAX.0852-31-1167
		生活介護事業 さざなみ	境港市渡町 2480
		TEL.0859-45-5400 (光洋の里内)	FAX.0859-45-5411
		共同生活介護・共同生活援助事業 互助の館	
		松江市矢田町484-6 TEL.0852-31-8313 FAX.0852-31-8313	
		松江市東津田町1324-1 TEL.0852-67-3500 FAX.0852-67-3500	

社会福祉法第26条 第1項

施行令第4条	介護保険法に規定する居宅介護支援事業他	居宅介護支援事業所 ナイス	松江市山代町 934-5
		TEL.0852-31-3288	FAX.0852-27-6982
		訪問看護ステーション 暖心	松江市山代町 934-5
		TEL.0852-28-0906	FAX.0852-27-6982

しらゆり会では、日頃の活動報告や活動予定をホームページにて紹介しています。下記のホームページアドレスからアクセスしてください。

時代のニーズに応える、新しい社会福祉づくりに取り組んでいます。

<http://www.sirayurikai.or.jp/>



◎写真 ～夏だ！プールだ！
キラキラ輝く水の中で涼感満喫!!～

待ちに待ったプール開き。連日猛暑が続く中、子ども達は思い切り水遊びを楽しんでいます。年長児のほとんどは抵抗なく、顔をつけたりもぐったり出来るようになりました。

編集後記

ここ数年来の異常気象。今年の夏も連日30℃をはるかに超える猛暑日が続いています。

これまで年2回発行してまいりました当法人広報誌「しらゆり」は、今年度から年1回の発行とさせていただきます。

さて今年の6月、サッカー日本のワールドカップ出場が決まった試合の後、サポーターたちの心をうまくとらえ、事故や怪我のないように誘導して話題となった“DJポリス”は、みなさまのご記憶にも新しいことと思います。

私たちが彼とまではいかなくとも、それぞれの持ち場持ち場で、利用者のみなさんや園児、保護者のみなさんのニーズを的確に把握し、うまくそれに応えていくことができたいと思います。そしてまた、それぞれの役割を果たすべく、日々努力していきたいと思ひます。

この広報誌を通して、そんな私たちの思いや取り組みの一端でも広報できれば幸いに存じます。



しらゆり【第29号】平成25年8月発行

- 発行人／理事長 国頭正治
- 編集・発行／社会福祉法人しらゆり会
- 制作／株式会社計画設計工房

※掲載の文章、写真などを無断転用・引用することを禁じます。また、掲載の氏名、写真は承諾を得て掲載しています。